



協定書を取り交わす成田晋頭取(右)と法官新一理事長  
—16日、青森市

# 企業の販路開拓支援

## 青銀と光星学院連携協定

路開拓や観光振興のほか、共同で創業支援のスキームを構築する。

青銀が県内の高等教育機関と連携を結ぶのは6例目、光星学院が県内金融機関と連携協定を結ぶのは初めて。

青森銀行(成田晋頭取)と八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)は16日、地域活性化に関する連携協定を結んだ。互いの知的、人的資源を活用し、県内企業の販路開拓や創業支援などに取り組む。

同日、青森市の同行本店で会見した成田頭取は「実りある『学金連携』を実現することで県内経済の活性化と発展に寄与し、より大きな地域貢献が可能になる」と連携の意義を強調。

協定内容は▽地域文化・地域産業の発展と課題▽観光振興・創業支援など地域経済発展▽まちづくり定住化の推進の3分野に関する情報交換と支援、「その他」の4項目。具体的には、マーケティング分析を活用した販

法官理事長は「初代理事長の『実学を持って地域に貢献する』との理念は私どもに使命感として伝わっている。(協定締結は)使命を推進できるものであり、地域活性化のため尽力していきたい」と語った。

(須田山裕太)